

2024年6月例会報告

ダイダラボッチを探せ & 古墳群を巡る

開催日	2024年6月6日（木）
集合場所	JR 常磐線 高浜駅
集合時間	9時～9時15分 9時20分スタート
コース	17km 高浜駅～井関農林公園～風返古墳群～井関農林公園（昼食） ～霞ヶ浦湖畔～高浜駅 28km 高浜駅～井関農林公園～風返古墳群～穴倉城跡～大宮神社 ～太子古墳～富士見古墳公園（昼食）～井関農林公園 ～霞ヶ浦湖畔～高浜駅
ゴール時間	17km 13時30分、28km 15時35分
距離	17km 往路 団体歩行 復路 自由歩行 28km 団体歩行
参加者	26名（17km 11名、28km 15名）
天候	晴れ

ウォーキング状況

今回は恋瀬川が流れ込む霞ヶ浦の最北端の高浜駅から霞ヶ浦西岸の高台を南下し、昔から霞ヶ浦の恵まれた自然の資源及び水交通網によって栄えた地域の伝説と遺跡を巡るコースです。（石岡市とかすみがうら市にまたがり、地名では石川、井関、穴倉、安食、柏崎を巡りました）

先ずは本日の主題「ダイダラボッチを探せ」です。

高浜駅をスタートし、恋瀬川に架かる愛郷橋を渡り直進し橋の手前から霞ヶ浦湖畔を目指します。現在工事中の那珂川、霞ヶ浦、利根川を結ぶ導水管工事（末尾に参考資料添付）の脇から民家が並ぶ高台の道路に進み、石川地区を過ぎ、井関地区に入れば「ダイダラボッチを探せ」スタートです。

2015年の紹介文によると、代田、梶和崎、古酒、長者峰の4箇所にあったが、現在は2箇所しかありません。

ふれあいセンター横の坂を降りて住宅地に・・・行き過ぎてませんか左手の角・・・角・・・有りました、代田のダイダラボッチです。製作から10ヶ月経過しているので少しくたびれていますが・・・井関農林公園でトイレ休憩後、本道から左手の細い道に入り、林に囲まれた道を登り、頂上を過ぎた先に何かを発見、長者峰のダイダラボッチです。



代田のダイダラボッチ



長者峰のダイダラボッチ

実は代田の手前の関川小学校の校舎の入口に、もう一体有ったそうで皆さんに安愛出来ず申し訳有りません。写真で紹介いたします。



関川小学校のダイダラボッチ

ご参考までに、今は見られない昔の古酒、梶和崎のダイダラボッチです



古酒



梶和崎

次は今回の2番目のテーマ「古墳群を巡る」です。
石岡市とかすみがうら市の境付近からかすみがうら市にかけて、34基の6～7世紀代の古墳があります。
石岡市側は井関古墳群、かすみがうら市側は風返古墳群と呼ばれています。
長者峰のダイダラボッチを見た後、一度台地を下り、登り直すと、畑地帯に出て、直ぐに古八幡塚古墳が、更にイチゴ畑を進むと風返大日山古墳



風返羽黒山古墳、風返浅間山古墳と続きます。看板と説明文はありますが手入れ状況は余り良くないのが少し残念でした。



風返大日山古墳前で記念撮影

記念撮影後、風返稲荷山古墳を見学。ここで17kmの方とお別れです。
17kmの方は台地から霞ヶ浦側に降り、水田地帯を高浜駅に戻ります。



風返稲荷山古墳の出土品（博物館案内資料より）

28kmの方は、更に台地を南下し、穴倉地域に向かいます。
穴倉城の大手門跡の鹿島神社、穴倉城本丸跡、大宮神社、太子古墳を経て、
富士見古墳公園に到着（12時40分）。
ここで昼食及び資料館見学後、富士見山古墳に登り、霞ヶ浦を一望する
景色を楽しみ、帰路につきました。



帰路は水田地帯をひたすら11km戻りましたが、村人とは一人しか遭遇
しない、のどかなウォーキングでした。

参加の皆様、お疲れ様でした。

記 松崎 寛

霞ヶ浦導水事業について

那珂川と霞ヶ浦と利根川を地下導水路で結ぶ工事。

詳細は <https://www.ktr.mlit.go.jp/dousui/index0001.html> 参照

事業の目的

霞ヶ浦導水事業の目的は次の3つです。

- ・水質浄化

那珂川、利根川からの導水により、霞ヶ浦や桜川（千波湖）などをきれいにします。

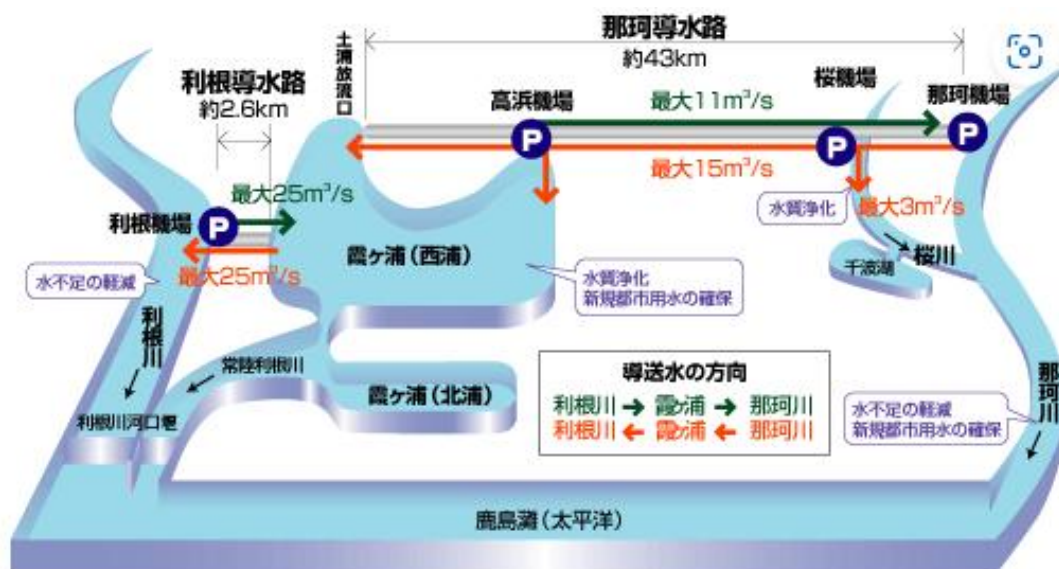
- ・水不足の軽減

お互いに水を行き来させることで、那珂川と利根川の水不足による被害を減らします

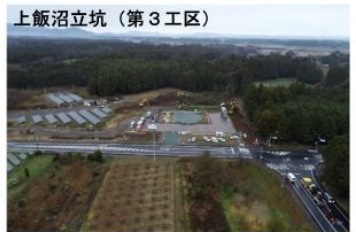
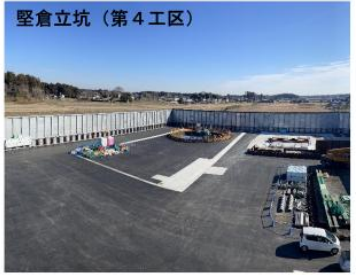
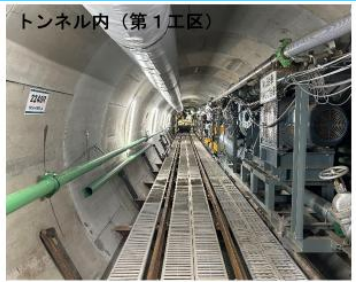
。

- ・新規都市用水の供給の確保

茨城県、東京都、印旛郡市広域市町村圏事務組合の新規水道用水、茨城県、千葉県の新規工業用水の供給の確保を図ります。



石岡トンネル及び高浜機場



以 上